



# 蒲郡文化

No.184

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/kyoiku/shogai/bunka/>E-mail [g.bunka@lion.ocn.ne.jp](mailto:g.bunka@lion.ocn.ne.jp)

## ◆浦添市文化協会創立三十周年を祝して

七月末になって、浦添市文化協会より創立三十周年記念式典・祝賀会への招待状をいただきました。去年四十周年の時に来て頂いた時からのお話であり、文協交流も十年をむかえたこともあり、役員および事務局の六名にて10月28・30日と浦添市を訪問しました。

初日は、午後二時過ぎ那覇空港到着。渋滞緩和のため開通したばかりといわれる道を通っていたながら、最初の見学地である養蚕絹織物施設「サン・シルク」へと向かいました。五年ほど前から厚生労働省の補助を受け、浦添の繭から生まれる糸で作られる「うらそえ織り」は、全ての工程をひとりひとりの手作業で行っているとか。見学を終え、浦添市役所へ向かう途中街路樹にめずらしい木が植えられていたのだとすねたら「福木」という木だそうで、こちらではどこにでもある木で、琉球ビン型の黄色はこの木の皮で染められるという事でした。



ていきましよう」と約束をして終えることが出来ました。

昼からの記念式典においては、古典芸能音楽部会によるプロローグ(かぎやで風)で厳

午後四時市役所到着。儀間光男市長を表敬訪問し、両市の交流について語り合いました。浦添市は近年、養蚕に着眼し、うらそえ織をはじめ、桑の葉をつかったお茶や菓子等の開発に力を入れているとお聞きしました。

二日目の役員交流会では、旧知の友のごとく、文化の違い、ことばの違い、沖縄の抱える問題等々、本音で話し合うことができ、「今後は文化を通して、個々の絆をさらに深めてい



かに始まり、浦添文協の星雅彦会長のあいさつ、蒲郡文協の坂部傑会長の祝辞とつづくなか、副会長はじめ我々一同も皆さま方に紹介をしていただきました。



つづいておこなわれた祝賀会の席では、平田正文副会長の謡曲「猩々」と木村君多香副会長の舞踊「祝賀の舞」を披露し、浦添文協からは台湾民族舞踊部会による「阿美迎賓舞」が披露されるなか、いろんな方々とお話をさせていただき、さらに交流を深めるとともに、この十年間の相互の交流がいかに有意義なものであったかを再認識する一日となりました。

三日目は、愛国地祖之塔に案内をしていただきましたが、我々六人それぞれに献花の花を用意していただき、心温まる思いでお参りすることができました。そこから望む空と海は、とても静かで澄んだ青をしていました。そして、どこからともなく表れた数羽の蝶に見送られ、浦添の方々の暖かいもてなしに感謝しながら三日間の交流を終えることになりました。

十年後、それぞれ五十周年・四十周年を迎えたとき、また会えんことを願って。(鈴木康祐)

